

令和2年10月10日
生き生き運動クラブ

放課後等デイサービス 自己評価表集計結果 報告書

先に実施したアンケート調査について、集計した結果を報告します。

1 調査の目的

「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき、1年に1回程度、事業者向け、保護者向けの自己評価（アンケート）を行ってもらい、その結果を踏まえて、事業運営の改善を図るものとする。

2 調査期間

令和2年8月13日（木）～9月11日（金）

※コロナウイルス緊急事態宣言期間もあり回収期間を延長。

3 調査対象

(1) 「生き生き運動クラブ」をご利用中のご家族20世帯

(2) 「生き生き運動クラブ」に従事する管理者1名、児童発達管理責任者1名、児童指導員1名、保育士1名、指導員2名、計6名。

4 調査方法

(1) 保護者へ送迎時に調査票を配布。無記名で記入後、返信用封筒にて投函していただき回収。

(2) 従事者6名に調査票を配布、無記名で記入後回収。

5 回収状況

回収数（保護者向け17票・事業者向け6票）

6 アンケート結果について（まとめ）

保護者の皆様からあげられましたアンケート結果やご意見を踏まえ、今後の改善目標が見えてきました。

特に『5. 活動プログラムが固定されていないように工夫されているか』『7. 支援の内容、利用者負担について丁寧な説明がなされたか』という点において、日々の運動内容が周知されていないという点が見えてきました。早速ですが、来月のカレンダーから運動の月目標（課題）を提示していきたいと思えます。また詳しい内容や子どもの取り組み状況などは個別にお伝えできたらと考えています。

『10. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支

援されているか』では、今年度に入りコロナウイルスの影響で保護者会の開催を中止していたことや、今年度から利用している保護者の皆様へは保護者会自体のご説明をしていませんでした。今後の開催については内容や日程を検討し、調整していきたいと考えています。

次に事業者（支援者）向けのアンケート結果については、『**10. 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している**』という項目で、更に細かなアセスメントを行い職員全体で把握するという改善点も出てきました。

また『**24. 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ行こうする場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している**』という点では、現在高校生の利用もあり今後障害福祉サービス事業所への意向も考えられることから、放課後等デイサービスだけでなく将来を見据えての支援や情報収集が必要だと感じています。

今年度の改善点を今後の支援に活かしていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。